



チーム りきごう

学校通信

6号 力合小学校

校長 岡崎 雄治

二十四節気

明日10月8日頃が二十四節気の「寒露」です。二十四節気として、立春にはじまり大寒まで季節の変わり目が二十四の言葉で表されています。その一つ一つを日頃意識することはあまりないかもしれませんが、年中行事などと結び付いて今でも我々の生活に受け継がれていますね。学校では、子どもたちが日本に受け継がれてきたものに触れる機会を意図的に設定することもあります。

授業参観をしていると、黒板に旧暦の月の呼び名が書かれているクラスがありました。季節の行事や風習、季節感などに合わせた「和風月名」とも呼ばれるものです。それでいうと、今月は「神無月」。出雲に全国の神様が集まる月です。小学生のころの私は中でもこの「神無月」がなぜかお気に入り、10月になると日本で出雲地方だけが「神在月」だねと友だちと話していたのを覚えています。今思えば、昔の人がそんな呼び方をしたということに何か感じるものがあつたのでしょうか。

また、立春の前の日の節分はみんな知っているけれど、あと3回節分があるということも初めて知った時は妙に納得したものでした。「土用丑の日」も「土曜」と思い込んでいて、「うなぎは土曜日に牛と一緒に食べるのか・・・いいなあ」と思っていたのは私だけではないのでは・・・。「うなぎ」ってどこかのCMのようですね。

さて、こどもたちは国語の学習や図書室の本などでも上記のような「ことば」に触れますが、折に触れ校長室からもそんな話題を提供していきたいと思います。季節外れの暑さがまだ残る毎日ですので、今月は季節にまつわるような話題を選んでみました。

集団宿泊教室を終えて

10月1日(火)から3日(木)まで、5年生は阿蘇の青少年交流の家で集団宿泊教室を行いました。熊本地震の影響で金峰山少年自然の家が使用できなくなり、ここ数年、本校は阿蘇青少年交流の家で実施してきました。来年4月に金峰山少年自然の家が使用できるようになりますので、市外での宿泊教室は今年度までになりそうです。

初日は天気にも恵まれ、交流の家周辺の大自然を感じながら、「水基めぐり」という活動を行いました。阿蘇神社周辺に湧く水(水基)をグループで探す活動です。交流の家から阿蘇神社までは片道4km程。行きはなだらかな下り坂、帰りはそれを登ります。水基周辺も20分ほど歩きますので、半日でけっこうな距離を歩きました。(引率した職員のスマホには2万数千歩という数字が記録されました。)さわやかな風とおいしい水が疲れも吹き飛ばしてくれました。

その日の夜は、満天の星空を観察しました。タブレットを夜空にかざすと今見えている星が星座の形に画面にあらわれます。なかには、草原に寝そべて夜空を眺めている子どもたちもいました。熊本市内から見る星とはまたちがった見え方だったかと思います。流れ星らしきものが見えたとき喜んでいたり、無心に夜空を見上げる様子などそれぞれで貴重な時間をすごすことができたようです。

2日目以降は雨模様でしたが、雨天時のプログラムも充実していて、あっという間の3日間だったようです。5年生にとっての大きな行事が一つ終わりました。次は、音楽会で全学年の演奏を保護者の皆様にご覧いただけます。どうぞお楽しみに。

<10月の保健目標>

目を大切にしよう

<10月の生活目標>

チャイムは席で聞こう